

# 豊中駅周辺の道路空間の活用に向けたサウンディング型市場調査 結果概要

令和8年（2026年）6月5日

豊中市都市計画推進部都市整備課

本調査は、豊中駅前人工デッキ（芝生エリア「まちかねテラス」を含む）の民間活力による快適な移動空間と賑わい憩える空間創出の可能性や、当該空間の管理・運営に関する事業スキームの成立可能性についてサウンディング調査を実施したものです。令和3年（2021年）に策定した、豊中駅周辺再整備構想の実現に向けて、アイデアやノウハウの提案を受け、対話を通じて当地区活性化について意見交換を実施しました。

このたび、対話に参加いただいた民間事業者との意見交換の内容について、概要を発表します。

## < 1. 実施期間 >

項目	日程
サウンディング調査公表	令和8年5月7日（木）
参加申込期限	令和8年5月20日（水）
対話の実施	令和8年5月25日（月）

## < 2. 対話の参加者数 >

2事業者

## < 3. 調査結果の概要 >

今回の調査では、以下のテーマのもと、対話項目について豊中駅周辺の道路空間の活用に向けた意見交換を行いました。

対話テーマ：まちかねテラスの魅力向上や維持管理等に係る事業手法に関する提案

- ・魅力向上に係る活用案
- ・維持管理手法案
- ・事業実施における課題の有無
- ・他の道路空間（まちかねテラス以外）へ波及の可能性

※事業者のノウハウに関する内容は記載していません。

対話項目	提案・内容
魅力向上に係る活用案	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民・店舗を中心としたマーケットイベント</li><li>・地域の発表の場、コミュニティづくりを目的としたイベント</li><li>・子育て世代をターゲットとしたイベント</li><li>・全国的に流行しているコーヒーイベント（出店のハードルが低く開催しやすい。）</li><li>・イベントや取組みの周知方法としてまちかねテラスから生中継</li></ul>

維持管理手法案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方が自立的に取り組める仕組みを作ることが大事である</li> <li>・ 非日常の活動を実施するために、日常の空間を管理する</li> <li>・ 指定管理者制度の活用</li> <li>・ 運営するための収益の確保が必要</li> </ul>
事業実施における課題の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マーケットを実施するための、電気・水道・ガス・Wi-Fi などインフラ整備が必要</li> <li>・ 搬入搬出場所がないとイベントの実施がしにくい</li> <li>・ 維持管理を継続するための収益の担保</li> </ul>
他の道路空間（まちかねテラス以外）へ波及の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊中駅南交差点前歩道空間の前など活用の可能性のある道路で企画を実施</li> </ul>

#### < 4. サウンディング調査結果を踏まえた本市の考え方 >

今回実施したサウンディング型市場調査により、豊中駅周辺再整備構想の実現に向けた豊中駅前人工デッキの活用については、日常的に通行機能を主目的とする道路空間を、賑わいや憩いなど非日常的な使い方をするために、地域住民や地域商店などの民間事業者の理解を得ることが不可欠であり、そのために地域住民等との関係構築を行い、連携した取組みとして進めていくことが重要であることが確認できました。また、豊中駅前人工デッキの活用を通じて、まちづくりに向けた地域の需要を把握するためには、イベントとして一過性のものとせず、継続的に実施することが重要であることも確認できました。

また、道路空間を活用するうえで重要となる維持・管理については、実証実験などのプロセスを通じて、自分たちのまちへの愛着と責任感を醸成させることが重要であり、地域の方が自立的に関与できる仕組みづくりをあわせて構築していくことが必要であることが確認できました。

一方で、豊中駅前人工デッキを活用した取組みを継続的に実施するためには、電気・水道・ガスやWi-Fi などインフラの整備や、搬入・搬出ルートの確保が必要ということが確認できました。

本市としては、地域の方々と関係性を構築しながら実証実験を重ね、当地区まちづくりに必要な機能や、空間を創出するための整備の実施や、その後の活用を踏まえた地域による維持・管理の仕組みを検討し、まちづくりを進めていきたいと考えています。